

フォルクスワーゲン グループ、堅実な財務実績により 主要な市場における収益性の高い成長の基盤を構 (日本語訳)

- 2022年におけるバッテリー式電気自動車(BEV)の販売台数は前年比26%増加し、2023年にはさらに重要なモデルを発表する予定
- 高い競争力を備えた魅力的な電気自動車ラインナップに対する強い需要により、フォルクスワーゲン グループは、ヨーロッパで BEV 市場のリーダーの座を維持し、2022年には中国での販売台数が68%増加。
- 2022年は北米地域にとって節目の年となり、チャタヌーガ工場の電動化、人気の高い「Scout」ブランドの復活、e モビリティへの移行を促進
- グループは、2023年から2027年にかけて最も魅力的なプロフィットプールと地域に1,800億ユーロの投資を計画、その3分の2以上は電動化とデジタル化に割り当て
- 2021年比13%増となる225億ユーロの堅調な特別項目計上前営業利益を計上し、フォルクスワーゲン グループにおける各ブランドの強みを示す
- フォルクスワーゲン グループ CEO オリバー ブルーメ:「私たちは明確で野心的な目標を設定し、2022年にプロセスを合理化するために必要な決定を下しました。2023年は、戦略目標を実行し、グループ全体の進歩を加速するための決定的な年になるでしょう。」
- フォルクスワーゲン グループ CFO 兼 COO アルノ アントリッツ:「今年も再び堅調な利益を生み出すことを目指しています。私たちの強固な財務基盤により、困難な経済環境においても、電動化とデジタル化への投資を継続することが可能になっています。」

ウォルフスブルグ、2023年3月14日 - フォルクスワーゲン グループは、世界経済における逆風にもかかわらず、2022年に堅調な業績を上げました。この結果は、グループが2023年にさらなる飛躍を遂げるための強力な財務基盤を備えていることを示しており、自動車部門は力強い利益率を達成し、非常に堅実な純流動性資産を持っています。グループのBEV戦略は2022年も引き続き前進し、すべての地域で堅調な業績を上げ、最新のモデルラインナップは高い人気を示しました。グループは、ヨーロッパでBEVセグメントの市

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

場リーダーの座を維持し、中国でも成長を続けています。2023年に登場する新しいモデルは、さらなる追い風となり、グループの市場における地位を向上させるでしょう。

フォルクスワーゲン グループ最高経営責任者(CEO)のオリバー ブルーメは、次のように述べています。「2022年度は、フォルクスワーゲン グループにとって重要な年となりました。大きな逆風にもかかわらず、戦略の実行に向けて前進しました。BEVは、総販売台数の7%という過去最高のシェアを占めました。人気の高いモデルラインナップの拡充を続け、前進させる、今年は大きな節目の年となるでしょう。"10-point plan"(10ポイントプラン)に沿い、私たちはブランドの新製品戦略、プラットフォームの合理化、ソフトウェアロードマップの改訂など、戦略を実行するための重要な措置を講じました。私たちは、各市場に合わせた魅力的な製品およびテクノロジーの開発と生産にさらに集中することにより、世界における存在感を強化し続けました。2023年は、戦略的目標を実行し、グループ全体の前進を加速するための決定的な年になるでしょう。」

持続可能な成長のための強固な財務基盤

フォルクスワーゲンは、2022年3月3日に、グループの前年度の主要な財務結果と2022年の見通しを既に発表しています。

2022年の総販売台数は前年比7%減少して830万台になりましたが、フォルクスワーゲン グループは将来の成長に向けて引き続き良好なポジショニングを構築しています。2022年の特別項目計上前営業利益率は8.1%に向上しました。これは、モデルミックスの強化を原動力として、継続的な価格設定の努力とコスト効率の改善を反映しています。自動車部門のネットキャッシュフローは48億ユーロに減少しました。これは、特に年末にかけての、サプライチェーンおよびロジスティクスの問題に対処するための運転資金の増加が原因でした。2023年中には、自動車部門の純流動性資産は大幅に増加に転じ、強化されると予測しています。180万台という高水準のバックオーダーと独自の製品ポートフォリオにより、グループは市場における確固たるポジショニングを構築しており、2023年にはサプライチェーンの制約が徐々に緩和されると予想しています。

自動車部門の純流動性資産は、ポルシェ AG の新規株式公開(IPO)に支えられ、2022年末には430億ユーロに増加しました。

グループは、2023年から2027年にかけて、特にグループのバッテリー戦略を含む最も魅力的なプロフィットプールに合計1,800億ユーロを投資し、北米地域での存在感を高め、中国でのデジタル化と製品の競争

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

力を向上し、グループの主要な製品ポートフォリオの開発も継続します。投資金額の3分の2以上(68%)は、デジタル化と電動化といった将来の分野に割り当てられます。

以前の5カ年計画では、この数字は56%でした。早ければ2025年には、全世界で販売される自動車の5分の1が電気自動車になると予想しています。投資金額を増加する主な理由は、バッテリーのスタートアップ企業であるPowerCoによるセル工場の建設のために最大150億ユーロのリングフェンスが行われたことと、バッテリー戦略の一環として原材料を確保するための先行投資によるものです。2030年までに、PowerCoの年間売上高は200億ユーロを超えると予想しています。さらに、最終世代の内燃エンジンへの継続的な投資が行われる予定です。投資は2025年にピークに達し、その後は減少し続けると予想しています。

フォルクスワーゲングループ最高財務責任者(CFO)兼最高執行責任者(COO)のアルノアントリッツは、次のように述べています。「2022年は、私たちのビジネスモデルの堅牢性を印象的に示しました。困難な状況下で、57万2,100台のBEVを納車し、売上高と営業利益を増加させました。2023年度は、全体的な経済の発展を考慮すると、2022年と同様に困難な年になると予想しています。しかし、説得力のある製品と約180万台のバックオーダーを抱えた私たちの力強いブランドにより、自信を持って2023年に臨むことができます。私たちは、今年も再び堅調な利益を生み出すことを目指しています。強固な財務基盤により、困難な経済環境においても、電動化とデジタル化への投資を継続することが可能になっています。」

市場をリードするBEV製品ポートフォリオ

フォルクスワーゲングループの製品ポートフォリオは非常に高い競争力を備えており、特にBEVセグメントでは大きな成功を収めています。BEVの成長は続いており、グループのBEVの総販売台数は26%増加し、2022年には販売全体におけるBEVのシェアが7%に達しました。BEVは現在、グループのバックオーダーの16%を占めています。この数値は、グループの戦略的優先事項を反映しており、2021年から増加し続けています。

2022年にグループで最も多く販売されたBEVのベスト3は、次のとおりです。

- Volkswagen「ID.4」¹/「ID.5」 19万3,200台
- Volkswagen「ID.3」² 7万6,600台
- ŠKODA「Enyaq iV」(クーペを含む) 5万3,700台

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

グループは、お客様の要望に合わせたニューモデルの開発を続けており、このセグメントのさらなる成長からメリットを得ることができる良好なポジショニングを構築しています。2023 年には、新型「ID.3」、「ID.7」、ロングホイールベース版の「ID. Buzz」、CUPRA「Tavascan」、Audi「Q8 e-tron」といった重要なニューモデルが発売されます。これらのニューモデルを投入することにより、2023 年度には全販売台数に占める BEV のシェアを約 10%に引き上げることを目指しています。

好調な営業利益が示すフォルクスワーゲン グループのブランド力

特別項目計上前営業利益は、2021 年比 12.5%増となる 225 億ユーロを計上し、フォルクスワーゲン グループにおけるブランドの強みを示しました。すべてのブランドによる収益の増加は、主にプレミアム ブランドおよびスポーツ ブランドと、より力強いポリウム ブランドによる相乗効果によってもたらされました。ポリウム ブランドは、2022 年の販売台数が 410 万台にわずかに減少したにもかかわらず、特別項目計上前営業利益は 40 億ユーロに増加しました(2021 年:35 億ユーロ)。

プレミアム ブランドの利益率は 12.3%(同:10.6%)に向上しました。これは、魅力的な装備を搭載したプレミアムモデルに対する堅調な需要、高レベルのバックオーダーに加え、ランボルギーニ、ベントレー、ドゥカティの各ブランドの好調な業績によって実現しました。プレミアム ブランドの売上高は、2022 年に 618 億ユーロ(同:559 億ユーロ)に増加し、特別項目計上前営業利益は 76 億ユーロ(同:59 億ユーロ)に改善されました。

ポルシェの営業利益率は 18.6%に上昇し、販売台数の増加、価格設定や製品ミックスの改善により、BEV のシェアは総販売台数の 11%を超えました。Porsche「Taycan」は、発売後わずか 2 年にもかかわらず、2022 年に生産台数が 10 万台に達しました。

フォルクスワーゲン ファイナンシャル サービスは、57 億ユーロの営業利益を計上し、グループの好調な業績に再び大きく貢献しました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

トレイトン商用車部門は、価格設定および製品ミックスにより、稼働率の低下と製品コストの上昇を相殺し、売上高を 395 億ユーロ(同:301 億ユーロ)に増加させました。トレイトン グループの営業利益率は 4% (同:1.3%)に改善し、営業利益は 16 億ユーロ(同:4 億ユーロ)となりました。

市場が電気自動車に移行する中、北米での成長に向けて良好なポジショニングを構築

フォルクスワーゲン グループの北米市場における販売拡大は 2022 年を通して続き、年間でいくつかの重要なマイルストーンを達成しました。これには、米国の経営陣の強化、2022 年にチャタヌーガで生産が開始された「ID.4」、2026 年に最初の電気自動車を導入するアイコンブランド、「Scout」の発表などが含まれます。

全体として、米国における BEV の販売台数は前年比 18.8%増となる 4 万 4,200 台で、グループ全体で BEV セグメントで 4 位にランクインしました。グループは現在、内燃エンジン搭載車を含む市場全体で 4% の市場シェアを持っており、2030 年までに 10%に増やすことを目指しています。これは主に、2024 年にデビューする「ID.7」および「ID. Buzz」を含む、米国における製品ラインナップの拡大によって促進されます。

地域に根ざしたアプローチを採用して中国市場で販売が回復

中国は、業界の変革とグループの脱炭素目標の達成において重要な役割を果たし続けています。クロスブランドによる中国取締役会の設置は、この地域における意思決定の速度と開発プロセスを大幅に加速し、それによってブランド間の相乗効果をさらに活用することを目的としています。2022 年、グループの「in China for China(中国で中国のために)」というアプローチは、現地のパートナーシップをさらに拡大することができました。Horizon Robotics とのパートナーシップにより、グループは中国における運転支援システムと高度な自動運転の開発を推進します。さらに、研究開発を加速し、ソフトウェア開発へのアプローチを拡大し、中国固有の技術コンセプトを推進するために、グループは CARIAD China を設立しました。これにより、グループはこの地域のお客様のニーズをより効果的に満たし、フレッシュでスマート、かつ快適な旅行体験を定期的に提供し、地域における目標を実現することが可能になります。中国の重要性は、特に e モビリティの分野で、今後 10 年間でさらに高まるでしょう。

このアプローチは既に素晴らしい成果を上げており、2022 年には、中国における電気自動車の「ID.ファミリー」の販売台数は 2 倍以上に増加しました。2022 年には、合計で前年比 102.9%増となる 14 万 3,100 台

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

の「ID.3」、「ID.4」、「ID.6」³が販売されました。全体として、中国での BEV の販売台数は、前年比で 68% 増加しました。

フォルクスワーゲン グループの年次記者会見に関する資料は、3月14日午前7時30分(現地時間)からウェブサイト(<https://amc.volkswagen-group.com/en>)で入手できます。

¹) ID.4 Pro Performance 150 kW (204 PS) – Combined power consumption in kWh/100 km: 18.7-16.4; combined CO₂ emissions in g/km: 0. Only consumption and emission values according to WLTP and not according to NEDC are available for the vehicle

²) ID.3 – Combined power consumption in kWh/100 km: 16.0-15.3; combined CO₂ emissions in g/km: 0. Only consumption and emission values according to WLTP and not according to NEDC are available for the vehicle

³) ID.6 – The vehicle is not sold in Germany



Volkswagen AG
Volkswagen Communications | Head of Strategy and Finance Communications
Contact Christopher Hauss
Phone 0171 876 9225
E-mail christopher.hauss@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



Volkswagen AG
Volkswagen Communications | Spokesperson, Finance and Sales
Contact Christoph Oemisch
Phone +49-5361-9-18895
E-mail christoph.oemisch@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. The Group comprises ten core brands from seven European countries:

Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, CUPRA, ŠKODA, Bentley, Lamborghini, Porsche, Ducati and Volkswagen Commercial Vehicles. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products range from pick-ups to buses and heavy trucks. Every weekday, 672.800 employees around the globe are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2021, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 8.9 million (2020: 9.3 million). Group sales revenue in 2021 totaled EUR 250.2 billion (2020: EUR 222.9 billion). Earnings after tax in 2021 amounted to EUR 15.4 billion (2020: EUR 8.8 billion).
